

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2006年（平成18年）4月25日号 No. 1361

目次

● 2005年のCIS諸国の経済(下)	1
● キーパーソン	10
ウズベキスタン、アジモフ財務相が副首相に復帰／10	
● エトセトラ	10
『調査月報』2006年5月号のご案内／10	
日露投資フォーラム希望者調査の実施／11	
『海外派遣者ハンドブック ーロシア編ー』の発行／11	
● ロシア新着企業情報	11
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	12
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	12

2005年のCIS諸国の経済(下)

はじめに

前回に引き続き、CIS統計委員会発表の統計データにもとづき、同諸国の最新の経済情勢についてのレビューを行う。

今回は、全12カ国の主要経済指標を表にまとめて掲載するとともに、CIS全般、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバについての解説をお届けした。今号では中央アジア諸国（カザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、トルクメニスタン、タジキスタン）および南コーカサス諸国（アゼルバイジャン、アルメニア、グルジア）を扱う。

カザフスタン:「石油による繁栄」から「長期的発展」へ

油価高騰の恩恵を受け、カザフスタン経済は2005年もまたGDP対前年比9.2%増と、2000年来の高度成長を維持した。鉱工業生産の伸びが4.6%増（2000年以降は10%増内外を維持）と鈍化したこと、好況を受けてインフレ率がじりじりと上昇していることがやや目を引くが、固定資本投資（22%増）はじめその他の指標は変わらず高い成長率を示している。鉱工業生